

第七十六回帝國議會  
衆議院

# 外國爲替管理法改正法律案委員會會議錄(速記第六回)

## 會議

昭和十六年二月十七日(月曜日)午後一時十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村金三郎君

理事稻田 直道君 理事菊池 良一君

理事中田 儀直君

小笠原三九郎君

木村 正義君

作田高太郎君

田中 邦治君

武田徳三郎君

粟山 博君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官

大藏省理財局長

大藏省銀行局長

大藏省爲替局長

大藏書記官

預金部資金局長

農林省總務局長

笠井 重治君

太田 理一君

伊東 岩男君

河野 密君

中島彌圓次君

森田 福市君

廣瀨 豐作君

竹内 新平君

相田 岩夫君

原口 武夫君

山際 正道君

中村孝次郎君

周東 英雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

外國爲替管理法改正法律案(政府提出)

不動産融資及損失補償法中改正法律案(政府提出)

(政府提出)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

兌換銀行券條例ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)

朝鮮銀行法及臺灣銀行法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)

朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出)

臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案(政府提出)

西村委員長 開會致シマス、外國爲替管理法改正法律案ヲ議題ト致シマス、本法律案ハ前會ニ於テ質問ヲ打切ツテ居リマス、本日茲ニ討論ニ入りタイト思ヒマス

作田委員 本法案ニ對シマシテハ討論ヲ省略致シマシテ、直チニ採決セラレシコトヲ希望致シマス

西村委員長 只今作田委員カラ、本法案ニ對シテハ討論ヲ用ヒズ、直チニ採決ニ入レト云フ動議ガ出テ居リマス、御異議ゴザ

イマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

西村委員長 然ラバ直チニ採決ニ入りマス、本案ニ賛成ノ方ノ起立ヲ求メマス

(議員起立)

西村委員長 起立議員、本案ハ政府提案ノ通り決定致シマシタ

西村委員長 是ヨリ他ノ七案即チ不動産融資及損失補償法中改正法律案外六件ヲ議題ニ致シマス、大體ニ於テ前會ニ質問ハ盡キテ居ツタノデアリマスガ、尙ホ二、三質問ヲ致シタイト云フ通告ガアリマス、仍テ之ヲ許シマス——小笠原君

小笠原(三)委員 極ク簡單ナ質問デアリマスガ、實ハ此ノ兌換券發行制度ノ改正ニ付テハ、前年來私ハ豫算總會ノ他デモ、屢、御質問申上ゲテ居リ、又此ノ意味デ申上ゲテ居ルノデ、今日殆ド有名無實トナツテ居ルヤウナ現行制度ヲ、斯ウ云フ風ニ御改メニナルト云フコトハ、是ハ洵ニ結構ナコトデ、機宜ヲ得テ新制度ト思フノデアリマスガ、併シドウモ此ノ改正ガ世間ニ與フル

### 付託議案

外國爲替管理法改正法律案(政府提出)(第四六號)  
不動産融資及損失補償法中改正法律案(政府提出)(第四九號)  
臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)(第五〇號)  
兌換銀行券條例ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)(第五二號)  
朝鮮銀行法及臺灣銀行法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)(第五三號)  
朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出)(第五四號)  
臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)(第五五號)  
産業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案(政府提出)(第六〇號)

影響ヲ少シ考ヘテ見マスト、何ダカ日銀ノ信用膨脹ヲ來シハセシカト云フヤウナ懸念ヲ、世間ニ抱カセヌデモナイシ、又ヤリ方如何ニ依ツテハ、左様ナ虞モアリマスノデ、其ノ點ニ付テ一、二御尋ネ申上ゲタイト思フノデアリマス、過日私ハ新聞ヲ見タダケデ、マダ速記録ヲ讀ンデ居リマセヌカラ、ドウ云フヤウニ御答辯ニナツタカ、ハツキリ存ジマセヌガ、此ノ最高發行制度ヲ御執リニナツテ、大藏大臣ガ御決メニナル金額ノ標準ニ付テ、相當大キイヤウニ豫想セシムルヤウナ數字ガ出テ居ルノデアリマス、四十五六億圓デヤナイカト云ツタヤウナ數字ガ——多分大藏省ノ御答辯ニ基イテ出タカトモ考ヘルノデアリマスガ、四十五六億圓トスルト、是ハ相當大キナ數字デアツテ、ドウモヤハリ世間デ心配シテ居ルヤウナ、信用膨脹ニ對スル危懼ノ念ヲ持タセルノデアリマス、ソコデ所謂制限外ノ制度ヲ御認メニナツテ居ル趣旨等カラ私共ガ考ヘテ見マスト、何處ヲ標準ニ置カレルノカ分ラヌケレドモ、餘リ將來マデ見込シタ所ニ、標準ヲ御置キニナルト、少シ世間ニ信用膨脹ノ心

配が多イノデハナイカ、寧ろ過去ノ例ヘバ前年ノ第三、四半期ト云ヒマスカ、或ハ第四、四半期デモ宜イノデアリマスガ、ソコヲノ平均位ノ所ニ置イテ、他ニ狀勢ヲ少シ織込マレル位ニシテ、アトハヤハリ制限外ヲ生カシテ行カレルト云フヤウナ行キ方ノ方ガ、世間ニ信用膨脹ノ危懼ヲ感ゼシメナイデ宜イノデハナイカト云フヤウニ考ヘマスガ、其ノ點ニ付テ御考ヘハ如何デアリマスカ

○相田政府委員 私カラ一應御答ヘ申上ゲマス、金額ニ付キマシテハ新聞ニ何カ出タカ知レマセヌガ、ソレハ大藏當局トシテハマダ何モ申シタコトハアリマセヌシ、此ノ委員會ニ於キマシテモ亦何モ申上ゲテ居ラヌノデアリマス、只今御話ノヤウニ、信用膨脹ノ感ジヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ勿論避ケナケレバナラスコトデアリマスガ、此ノ最高限度ヲ定メマス趣旨ハ、大體前同ノ委員會ニ於テモ申上ゲタノデアリマスガ、勿論年一回位大體ニ於テ基準ニナル發行額ヲ決メルト云フノデアリマシテ、年末等金融繁忙ノ節ノ通貨ノ賄ヒハ、制限外發行ノ制度ニ依ツテ之ヲ賄ツテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、小笠原サンノ御意見ト全然同一デアリマス、唯之ヲ大體年度始メニ定メルコトトナルト思フノデアリマスガ、是ハ其ノ時ノ諸般ノ情勢ヲ判斷致シマシテ、此ノ前ノ委員會ニ申上ゲタヤウナ要素ヲ勘案シテ、決定シタイト考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 ドウカ世間ニサウ云フ印象ヲ與ヘナイヤウニ——此ノ發行券制度ガドウモ、サウ云フヤウナ印象ヲ與ヘルト云フコトガ、一番懸念サレマスノデ、十分其ノ點ニ付テ御留意願ヒタイト存ジマス、

實ハ物價等ノ方面カラ見マシテモ、今日割合ニ通貨ノ數量ガ多過ギルノデハナイカ、資金審査ナドモ、モウ少シ早クヤツテ戴イタ方ガ宜イノデハナイカト云フヤウナコトモ言ハレテ居ル、物價對策等カラ見マス、少シマダ兌換券ノ増發趨勢ガ多過ギルヤウニ、實ハ考ヘルノデアリマス、ソコヘ若シ幾ラカデモ世間ニサウ云ツタヤウナ感ジヲ持タセルコトニナリマス、非常ニ由々シキ問題ヲ生ズルヤウニ考ヘマスノデ、此ノ點餘リ將來ノコトヲ見込シ、凡ソ是位ハ出ルダラウト云フヤウナ所カラ御決メニナルコトハドウカ、新聞デハサウ云フ風ナ意味ニ一寸取レルヤウニ書イテ居ル、無論大藏當局ガ仰シヤツタトカ——サウスルト四十五億圓カ知ラント云フコトガ書イデアリマスカラ、其ノ邊カラ歸納シテ取レルヤウデモ困ルト、實ハ此ノ點ヲ御尋ネ申上ゲタカツタノデアリマス

其ノ次ニ過日廣瀨次官カラ御話モアリ、私共洵ニ其ノ通りダト思ツテ居リマスガ、尙ホ朝鮮銀行券、臺灣銀行券等ハ、現在之ヲ統一スルト云フヤウナ時期ニハマダ達シテ居ナイ、マダ今ノ情勢カラ見テ是ハ統一セヌ方ガ宜イノダト考ヘマスガ、今回日銀預金制度ヲ御採リニナツタ一ツノ理由トシテ、之ヲ發行券統一ノ前提デアルト云フヤウナ意味ノ御話ヲ伺ツタヤウニ——是ハ私聽達ヘタノカモ知リマセヌガ、聽イテ居リマスノデ、左様ナ御考ヘカドウカヲ、一ツ確メテ置キタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 只今小笠原サンノ御尋ネデアリマスガ、日本銀行ニ對スル朝鮮銀行及ビ臺灣銀行ノ預金ヲ以テ、銀行券ノ發行準備ニ充テマスル趣旨ニ付キマシテハ、只

今御尋ネノヤウナ將來朝鮮銀行券、臺灣銀行券ヲ日本銀行券ニ統一スル前提ト云フ考ヘデハゴザイマセヌノデス、是ハ御承知ノヤウニ現在朝鮮銀行ニ於キマシテモ、臺灣銀行ニ於キマシテモ、法律ノ制度ノ上カラ致シマシテ、實際ソレダケノ日本銀行券ヲ倉中ニ藏ツテ、ソレヲ準備トシテ發行致シテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ實際市中ニ流通シナイ所ノ日本銀行券ガ、發行高ノ中ニ入ツテ勘定サレマスノデ、ソレガ自然世間ニ對シテ、餘計發行サレタヤウナ感ジヲ抱カセルノデアリマス、仍テソレハ無駄デハナイカト云フ考ヘカラ致シマシテ、其ノ分ダケハ除イテ宜シイ、斯ウ云フ考ヘカラ致シマシテ、今度法律改正ヲ提案致シタヤウナ次第デアリマス

○小笠原(三)委員 廣瀨次官ノ御答辯ノ通りデアリマスレバ洵ニ結構デ、實ハ私昨年特ニ此ノコトヲ提案申上ゲテ、大藏當局ノ考慮ヲ求メタノデアリマスカラ、是非是ハ御採用ニナルベキモノダト思ツテ居ツタノデアリマスガ、一寸私ガ外デ聞イタ所デハ、今ノヤウナ前提デアルト云フコトヲ言ハレタト云フ、ソレデハ少シ私共ガ昨年ノ議會デ申上ゲタ意味トモ違フシ、又ソレデハ實情ニモ副ハヌト考ヘマシタノデ、念ノ爲ニ御尋ネ申上ゲタ次第デアリマス

尚ホモウ一點御伺ヒシテ置キタイノハ、今度兌換券ノ種類ヲ、大藏大臣ガ御決メニナルコトガ是デ出來ルコトニナリマスガ、是ハ餘程御考ヘ下サラヌト、此ノ間豫算總會デモ或ル人ガ質問サレタヤウニ、五百圓券ガ出ル、千圓券ガ出ル五千圓券ガ出ル、一万圓券ガ出ルト云フヤウナコトデ、サウ云フコトダケデモ、餘程通貨ノ膨脹ヲ刺戟

スルコトニナルノデアリマシテ、是ハ權限ヲ得テ御置キニナルコトハ、洵ニ結構デアリマスケレドモ、實際問題トシテハ、當分御考ヘニナラナイ方ガ宜イノデハナイカト云フ風ニ、私共ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、之ニ付テ過日豫算總會デハ、千圓券ノ如キモノヲ出ス意思ハ毛頭持ツテ居ラヌト云フコトヲ大藏大臣ハ言明サレマシタガ、其ノ後又何處カデ、必ズシモサウデナイヤウナコトヲ言ハレタヤウニ——是ハ私ハ自分デ承ツタノデアリマセヌ、新聞記事デ見タノデアリマスガ、是ハ大藏大臣ノ御言明ノ如クニ、差向キ左様ナコトハ考ヘテ居ラヌト云フヤウナコトデナケレバナラスト思フノデアリマスガ、次官ノ御考ヘハ如何デアリマスカ

○廣瀨政府委員 日本銀行券ノ種類ニ付キマシテハ、今回大藏大臣ニ於テ定メルコトノ出來ル權限ヲ得タノデアリマス、併シ差當リ政府トシテ考ヘテ居リマスル所ハ、只今小笠原委員ノ仰セノ通り、現在以外ノ種類ノモノヲ出ス考ヘハゴザイマセヌ、左様御諒承願ヒマス

○小笠原(三)委員 モウ一點ダケ御尋ネシテ置キマス、此ノ保證準備ニ入ラレル何カ種類別ノ比率ト云フヤウナモノデモ御考ニナツテ居ルデセウカ、例ヘバ金銀ハドウスルトカ、公債證書ヲドノ割合ニスルトカ、或ハ預金部資金ヲドノ割合ニスルトカト云フヤウナコト、特ニ是ハ外地銀行ノ場合ガ一番デスガ、御考ヘニナツテ居ルノカドウカ、凡ソノ何カ内規ノヤウナモノデモ御決メニナツテ居ルノカドウカ、情勢ニ於テ變化サスト云フ御考ヘカ、其ノ邊ヲ御差支ナケレバ承ツテ置キタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 日本銀行ノ準備ノ中味ニ付キマシテ、各種類間ノ比率ハ考ヘテ居リマセヌ、朝鮮銀行、臺灣銀行ニ付キマシテモ、大體サウデアリマセヌガ、唯日本銀行券ヲ準備ニシマス額ニ付キマシテ、比率ト云フ意味ハアリマセヌデ、先般提案理由ノ際ニ、御説明申上ゲマシタヤウナ理由ニ依リマシテ、或ル程度政府トシテハ、關心ヲ持ツテ指導ヲシテ行キタイト云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居ルヤウナ次第デアリマス

○西村委員長 ソレデハ通告ニ依リマシテ河野君ニ許シマス

○河野(密)委員 私ハ特別ニ御質問申上ゲル必要ガアルノデハゴザイマセヌガ、マダ速記録ガ出テ居リマセヌノデ或ハ重複スル質問ニナリマシタラ、ドウゾ委員長カラ御注意願ヒタイト思ヒマス、今小笠原サシノ質問デ、大體大藏大臣ガ年初ニ決メタル發行額ノ、凡ソノ基準ト云フモノハ分リマシタガ、若シサウ云フコトニナリマスト、大藏大臣ノ決メタル發行額ニ依ツテ、其ノ一箇年ノ財政經濟ノ根本ハ、殆ド左右サレルト云ツテモ、私ハ過言デナイト思ヒマスルガ、其ノ場合ニ大藏大臣ガ唯御決メニナルト云フコトハ、少シク不穩當デアル、私ハ審議會トカ或ハ經濟會議ト云ツタヤウナ諮問機關、或ハ協議ナサレ機關ヲ御作りニナル必要ガ、是非トモアルト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テノ御考ヘヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

ス、併シ申スマデモナク大藏大臣ト致シマシテハ、ソレヲ決定スルマデニハ、各種ノ方面ニ對シマシテ、審議會トカ委員會トカ云フ形式ニ依ラズニ、意見ヲ求メルコトニナル譯デアリマス、殊ニ御承知ノヤウニ、日本銀行ノ意見等モ參酌スル譯デアリマセガ、日本銀行ニハ相當其ノ方ノ權威者モ居リマスルシ、參與、理事ト云ツタヤウナ民間ノ各方面ノ代表者ヲ網羅シタ機關モアリマスカラ、其ノ日本銀行ノ意見モ參酌シ、又財政豫算其ノ他ノ事情モ考慮致シマシテ、決定致ス譯デアリマス、大體ソレデ差支ナイモノト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○河野(密)委員 二、三年前ニ日本銀行ノ理事制ヲ改メラレタ時ニモ、私ハ議會ニ於キマシテ、其ノ理事ノ範圍ヲモツト擴大シナクテハイケナイノデハナイカト云フ意見ヲ述ベタノデアリマスガ、私ハ大藏大臣ガ殆ド財政經濟ニ互ツテ、全般ヲ動カスヤウナ力ヲ持ツヤウニナル前提トシテハ、ドウシテモ審議會ト云フモノヲ御考慮ニナルベキガ當然ガト思ヒマスガ、其ノ點重ネテ御考慮ニナルカドウカ、一寸御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 只今ノ所デハ、今御質問ノヤウナ審議會ト云フモノハ、拵ヘナイ考ヘデ居リマス、唯御説ノ通りニ、此ノ決定ハサウ云フ重大ナコトデアリマスカラ、審議會ト云フ形ガナクテモ、各方面ノ意見ヲ參酌シテ慎重ナ考究ヲ遂ゲタ上デ、決メタイト云フ考ヘデ居リマスカラ、御諒願ヒタイト思ヒマス

○河野(密)委員 次ハ少シ關聯シタ質問ニナリマスカラ、先般昭和十六年度ニ於キマスル貯蓄ノ目標ヲ、百三十八億ト御發表ニナツテ居リマス、其ノ間公債消化ノ爲ニ八十億、生産擴充ノ爲ニ五十五億ト云フ數字ヲ、御發表ニナツタノデアリマスガ、其ノ公債發行豫定八十億ヲ、政府デハ郵便局ノ窓口ノ消化、ソレカラ普通銀行、生命保險等ニ對シテ、ドウ云フ風ニ割當テラレルヤウニ御考ヘニナツテ居ルデアリマセウカ、昭和十五年度ニ於テハ、例ヘバ預金部ガ十八億、郵便局窓口ガ六億ト云フヤウナ豫定デアツタヤウニ、私ハ承知シテ居リマスガ、其ノ點ニ付テドウ御考ヘニナツテ居ルデアリマセウカ

資金ガ要リ、又ソレヲ消化スル必要ガアルカト云フ其ノ内譯ヲ致スデアリマス、併シ只今ノ所デハ、實ハ其ノ資金統制計畫ガ決マツテ居リマセヌ、ト申シマスノハ確定シテ居リマセヌ、又確定致シテモ從來カラ其ノ内容ハ、申上ゲナイコトニナツテ居リマス、何故申上ゲナイカト申シマス、各種ノ金融機關ノ預金増加ノ見込ミノヤウナモノハ、内部ニ於テハ取リマスガ、之ヲ發表スルト場合ニ依ツテハ、ソレニ依ツテ色色金融機關側デ、迷惑ヲ蒙ルコトモアリ得ルノデアリマス、又一方生産力擴充關係資金ノ六十億ノ内譯ニ付キマシテモ、内部ノ内譯ヲ發表致シマス、之ニ依ツテ大キナ期待ヲ持チ過ギタリ、又逆ニ落膽スルヤウナ部面モアリマシテ、非常ニ困ル譯デアリマス、デアリマスカラ最近ニ於キマシテハ、一應ハ年度ノ初メニ於テ、一年間ヲ通ジタ資金統制計畫ヲ拵ヘマスガ、本年ノ一月、三月ニ於キマシテ實行致シマシタヤウニ、來年度ニ於テハ每四半期ツツト申シマスカ、即チ三箇月ツツ計畫ヲ立テマシテ、大藏省内ニ於テ關係官廳及ビ民間ノ人ニモ來テ貫ツテ相談シテ、其ノ三箇月毎ニ、此ノ期ニ於テハ何ト何、例ヘバ社債ナラバドウ云フ種類ノモノヲ幾ラ出スト云フコトヲ決定スルノデアリマス、サウ云フヤウナ方法デヤツテ行キタイト思ヒマス、其ノ時ニ三箇月ダケヲ實情ニ即シテ、本當ニ實行シ得ルモノダケヲ、發表シテ行クト云フ方法ヲ、今後モ執リタイト考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス、併シ只今御指摘ニナリマシタ、例ヘバ預金部ニ於ケル國債引受、又郵便局窓口賣出シノ國債等ニ付キマシテハ、預金部ハ十五年度ニ於テモ、二十億位ノ國債

○廣瀨政府委員 只今貯蓄ノ目標ヲ百三十八億ト云フ御話ガゴザイマシタガ、ソレハ多少違ツテ居リマス、是ヲ正式ニ決メマスノハ、御承知ノヤウニ國民貯蓄獎勵委員會ニ付議シテ決定致スデアリマスガ、只今ノ所デハ、少クトモ百三十五億ヲ目標ニシナケレバナルマイト云フ意味合デ、今御話シテ居ル譯デアリマス、ソコデ其ノ百三十五億ノ内譯ハ、御承知ノヤウニ昭和十六年度豫算ニ基キマス國債發行豫定額ハ、七十五億七千万圓デアリマス、之ヲ大キク押ヘマシテ七十五億ヲ消化スルトシマス、少クトモ七十五億ガ要ル譯デアリマス、ソレカラ生産力擴充關係ノ各種ノ資金ハ、約六十億要ル、ソレデ百三十五億ニナル譯デアリマス、是ハ大體ノ目標デアリマスガ、ソレデハ之ヲドウ云フ風ニシテ消化スルカト云フ問題ニナリマスト、政府ニ於テハ最近毎年度ノ初メニ於テ、資金統制計畫ト云フモノヲ立テマシテ、各種ノ金融機關其ノ他ニ於テ、ドノ程度ノ消化ガ出來ルカヲ一方ニ於テハ測定シ、又一方ニ於テハドノ位ノ

引受ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、來年度ハヨリ以上ノ國債ノ引受ヲシテ欲シト云フ期待ヲ持ツテ居リマス、又國債ノ郵便局窓口賣出シニ付キマシテモ、同様デアリマシテ、今後國民貯蓄組合ノ強化等ヲ圖リマシテ、此ノ窓口ノ小額國債ノ賣出シモ、十五年度ノ實績以上ノ成績ヲ收メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ又貯蓄債券、報國債券ノ發行等モ、右カラ左へ政府、即チ預金部ノ收入金ニ入ツテ、直チニ之ヲ國債ノ方ニ放出サレコトニナル譯デアリマスカラ、之ニ付キマシテモ來年度ニ於キマシテハ、本年度以上ノ發行ヲ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○河野(密)委員 能ク分リマシタ、貯蓄獎勵問題ト關聯シテ、私ハ國民貯蓄組合ヲ作ルヤウニナルト、直グニ其ノ影響ヲ受ケルノハ、地方銀行デハナカラウカト思フノデアリマスガ、此ノ際地方銀行ニ對スル政府ノ方針ヲ徹底スルト申スカ、一元化スルト申シマスガ、何等カノ對策ヲ執ル必要ガアルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、御承知ノヤウニ、地方銀行ノ機能ハ既ニ變質シテ居ルガ、變質シテ居リナガラモ舊態依然タル態勢デヤツテ行クト云フ所ニ、無理ガアルノデアリマシテ、昨秋ノ地方ニ於ケル金融梗塞ノ實情ハ、一面カラ見レバ地方銀行ノ制度ニ缺陷ガアツタカラデハナイカ、再檢討ヲ要スルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘル譯デアリマス、豫テカラ大藏當局ニ於テハ、地方銀行ノ合同ヲ促進セラレ、或ハ地方銀行ニ對スル統制ヲ強化サレマシテ、或ハ一府縣一銀行主義ト云フヤウナコトヲ強行サレヨウトシタコトモアルノデアリマス、勿論其ノ利弊ト申スカ、得失

ハ色々アルト思ヒマスガ、私ハ此ノ際ドウシテモ貯蓄獎勵ト睨合ハセ、或ハ銀行ガ一面ニ於テハ全ク公債消化ノ機關トナリ、或ハ産業ニ對シテ政府ガ命令スル資金ヲ融通スル機關ニナルト云フヤウナ見地カラ見テ、ドウシテモ地方銀行ノ合同ト、地方銀行ニ對スル統制ノ強化ハ、絕對ニ必要ナコトデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル當局ノ御所見ヲ承リタイ

○廣瀨政府委員 地方銀行ニ對スル方針ニ先立チマシテ、國民貯蓄組合法案ヲ今回提出致シマシタガ、其ノ貯蓄組合ノ強化ト云フコトト、地方銀行ノ關係ニ付テ一言申上ゲタイト存ジマス、今回ノ貯蓄組合法案ノ中ニ於キマシテ、銀行預金ニ付テモ三千圓マデノ免稅點ヲ置キマシタ、是ハ詰リ國民ガ貯蓄組合ヲ通シテ、地方銀行ニ預金致シマス場合ニハ、獎勵ノ意味ヲ以テ地方銀行ニ對シテモ三千圓マデハ免稅スル、從來ハ免稅點ノナカッタモノヲ、新ニ免稅點ヲ設ケタノデアリマス、ソレカラ今一ツハ、地方銀行ニ於テモ、從來ハ貯蓄銀行ダケニシカ許サレナカッタ複利ヲ以テ、利子ノ計算ヲスルコトガ出來ル、詰リ貯蓄銀行的ナ預金ノ受入レ方ヲ、地方銀行ニモ認メルコトニ致シタノデアリマス、斯ウ云フコトニ依ツテ、一方ニ於テ地方銀行ガ地方ニ於テ預金吸收機關トシテ、十分働キ得ルヤウニ考慮シタ次第デアリマス、ソコデ地方銀行ニ對スル政府ノ方針、又最近ノ地方銀行ノ實情ト云フ問題ニナルノデアリマスガ、只今河野サンノ御考ヘノヤウナ實情トハ、實際ハ地方銀行ハ大變違ツテ來テ居ルノデハナイカト云フ感ジヨ、實ハ抱クノデアリマス、仰セノ通り地方銀行ニ付テハ、御承知

ダト思ヒマスルケレドモ、數年前カラ地方銀行協會ト云フモノガ出來マシテ、是ガ地方銀行全體ノ世話ヲ燒ク、其ノ世話ヲ燒キマシテ、資金ガ剩ツタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、其ノ資金ヲ何處ヘ放資スルカト云ツタヤウナコトニ付テ、中央ト常ニ連絡ヲ取ツテ居ルノデアリマス、其ノ結果ト致シマシテ、一昨年ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ、大藏省預金部カラ數千萬圓ノ社債ヲ、地方銀行ヘ賣渡シ、又昨年ニ於キマシテハ、一年間ニ地方銀行ガ興業債券ヲ三億五千萬圓引受ケルト云フヤウナ處置ヲ執ツタノデアリマス、斯ウ云ツタヤウナコトヲ致シマシテ、先程地方ニ於テハ、金融梗塞ガ起ツテ居ルノデハナイカト云フ御懸念モアリマシタガ、全體カラ申シマス、寧ろ地方ニ於テハ貸出シノ需要ガ少イノデアリマス、資金ガ剩ツテ居ルノデアリマス、其ノ剩ツタ資金ヲ打捨テ置キマス、一方ニ於キマシテハソレガ不健全ナ方面ニ流レル虞レガアルノデアリマス、又一方ニ於テハ銀行ソレ自身ノ採算ノ上ニモ影響致シマスノデ、一方ニ於テハ銀行ニ採算ヲ執レルヤウニシ、又健全ナル投資ヲ致サセル爲ニ、政府ト致シマシテハ地方銀行協會ヲ通ジマシテ、出來ルダケノ配慮ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ致シマシテ地方銀行ハ斯ウ云ツタヤウナ結束ヲ以テ當ツテ行キマスノデ、全體ト致シマシテハ、私ハ餘程改善サレテ居ルト思フノデアリマス、又同時ニ政府ト致シマシテハ、年々地方ノ狀況ニ應ジマシテ、合併等ノ獎勵モ致シテ居リマスルガ、併シハ先程御話ガアリマシタヤウナ、一縣一行主義ト云フモノヲ、決シテ政府ハ厲行シヨウト云フ考ヘハゴザ

イマセヌ、其ノ土地ノ事情ニ應ジマシテ、一縣一行デ宜イ所ハ、サウ云フコトニ致シテモ宜シヨゴザイマスガ、一縣一行デ却テ其ノ地方ノ實情ニ合ハナイ場合ニ於キマシテハ、無理ニ合併ヲサセルト云ツタヤウナコトハ、シナイヤウニ致シテ居ル次第デゴザイマス、サウ云ツタヤウナコトニ致シマシテ、地方銀行ハ今後ニ於キマシテモ、大體順調ナル發展ヲ遂ゲテ行キ得ルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

○河野(密)委員 私ハ從來一府縣一行ト云フヤウナ、強ヒテ銀行ノ合同ヲシヨウト云ツタ方針ガ宜カツタト云フノデハナイノデアリマスガ、其ノ時分ニハソレヲ非難スベキ十分ノ理由ガアツタト思ヒマス、アツタト思ヒマスガ、是カラ銀行ノ機能ト云フモノガ變ツテ來ル、所謂金融ノ新體制ト申シマスガ、斯ウ云フコトニナツテ參リマス爲ニハ、ドウシテモ銀行ノ或ル種ノ合同ト云フコトガ、必要デヤナイカト思フノデアリマス、私ノヤウナ者カラ見マシテモ、一番舊體制ナノハ金融業者デヤナイカト思フノデアリマシテ、其ノ政府ノ方針ニ勿論協力ハ致シテ居リマスルケレドモ、必要ナ方面ニ於ケル資金ノ融通、或ハ新興ノ産業ニ對スル資金ノ融通ト云フヤウナ點ニ付テモ、現在ノ儘デハ非常ニ困難デヤナイカ、私ハ直接同ヒマセヌガ、國家總動員法第十一條ノ御説明デモ、是ハ普通銀行ニハ適用シナイノダト云フヤウナ御説明ガアツタト記憶致シマスガ、サウ云フコトデアツテハ、尙更私ハ背後ニ銀行ヲ持ツテ居ナイ事業ト云フモノガ、非常ニ興リ難イト云フ結果ニナルノデヤナイカ、現在ノ生産力擴充、新興産業資金融通ト云フヤウナ點カラ見テモ、少

決シテ政府ハ厲行シヨウト云フ考ヘハゴザ

シ背馳スルノデヤナイカ、今マデ非難サレ  
タ點ハ、十分考慮ニ入レルケレドモ、新シ  
イ體制ニ應ズル爲ニ、今度ハ地方銀行ノ統  
制ト云フコトガ、非常ニ必要ニナツテ來ル  
ノデヤナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、  
重ネテ其ノ點ヲ御尋ネシタイ

○廣瀨政府委員 地方銀行ノヤリ方ニ付キ  
マシテ、從來色々批評セラルベキ點ガアツ  
タコトハ、仰セテ通リデアルト思フノデア  
リマス、是ハ併シ此ノ地方銀行ガ、例ヘバ  
資金ノ非常ニ需要ノ多イ時ニ、却テ貸出ノ  
回收ヲスルト云フヤウナコトガアリマシタ  
ノハ、要スルニ地方銀行ノ預カツテ居リマ  
ス所ノ預金ト云フモノニ對シマシテ、是ガ  
要求拂ヒノ預金ガ多イノデアリマスカラ、  
是等ノモノニ對スル一種ノ安心ト申シマス  
カ、サウ云ツタヤウナモノガナイ限リ、地方  
銀行ニ其ノ時ノ時勢ガ要求スルヤウナ方面  
ニノミ動ケト云フコトモ、中々ムヅカシイ  
問題デアルト思フノデアリマス、ソコデ總  
動員法ノ第十一條ノ規定ハ、是ハ債務ノ引  
受又ハ保證ト云フコトガ今度新シク入ツタ  
ノデアリマスガ、是ハ政府カラ命令ヲ致シ  
マスノハ、日本興業銀行、或ハ場合ニ依ツ  
テハ日本銀行ト云フヤウナコトガアリ得ル  
ト思フノデアリマスガ、其ノ命令ヲ受ケテ  
致シマス先デ普通銀行ガ入り得ル譯デアリ  
マス、デアリマスルカラシテ普通銀行ガ入  
ツテ居ナイト云フコトハ、ソレハ只今サウ  
云ツタヤウナ事態デハナイト云フコトハ、  
ハツキリ申上ゲ得ルト思フノデアリマス、  
併シ將來必要ナル場合ニ於キマシテハ、普  
通銀行ガサウ云ツタヤウナ處置ヲ執ル必要  
ガアリマスル場合ニ於テハ、日本興業銀行  
又ハ日本銀行ヲ通ジテ、地方銀行ガ總動員法

ノ適用ト申シマスカ、總動員法ニ依ル措置  
ヲ受ケ得ル體制ニナツテ居ル譯デアリマス、  
其ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河野(密)委員 最後ニ私ハ少シク離レルト  
思ヒマスガ、購買力ノ吸收問題ニ付キマシ  
テ、一點御尋ネシテ質問ヲ終リタイト思ヒ  
マス、購買力ノ吸收ノ方法ニ付テハ、當議  
會ニ於テモ色々問題ニナツタコトハ、御承  
知ノ通リデアリマスガ、マダ何等ノ確定的  
ナ案ト云フモノモ現レテ居ラナイ、唯貯蓄  
組合法ガ提出サレテ居ルト云フコトガ、新  
シイ案ノヤウニ見受ケラレルノデアリマス、  
此ノ購買力吸收點ニ付テ、最モ留意シナケ  
レバナラナイノハ、潜在的ナ購買力ノ吸收  
デアリマス、假令銀行ニ預金ヲ持ツテ居リ  
マシテモ、郵便局ニ預金ヲ持ツテ居リマシ  
テモ、其ノ預金ヲ持ツテ居ルコト自體ガ、  
潜在的ノ購買力デアリマスガ、其ノ潜在的  
ノ購買力ヲ、何等カノ形デ抑ヘナケレバナ  
ラスト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、私  
ハ決シテ此ノ際増稅ヲシロトカ云フヤウナ  
コトヲ申上ゲル譯デハ毛頭ゴザイマセヌ、  
ケレドモ本年ハ別ト致シマシテモ、少クモ  
モ來年度ニ於テハ、直グニサウ云フ問題ガ  
起リ得ルモノデヤナイカト思ヒマスガ、サ  
ウ云フ點ニ於ケル研究ハ如何ナモノデア  
ルカ、例ヘバ取引稅ト云フヤウナモノニ付テ  
ノ御考ヘハ、ドウデアラウカト云フ點ヲ伺  
ヒタイト、モウ一ツ購買力吸收ノ方法ト  
シテハ、租稅證券ト云フヤウナモノヲ御發  
行ニナルコトハ、ドウカト思フノデアリ  
マスガ、其ノ點ニ付テノ御考ヘヲ承ツテ見  
タイト思ヒマス

ニ考慮ヲ致シ、研究ヲ致シテ居ル所デアリ  
マス、唯潜在通貨ト云フモノヲ括ツタラド  
ウカト云フ御話デアリマスガ、是ガ一番問  
題デアリマシテ之ヲ唯單純ニ、例ヘバ強制  
的ナ方法ヲ用ヒテ括ルトカ云フヤウナコト  
ヲ致スコトハ、只今政府ト致シマシテハ、  
却テ弊害アリト云フ風ニ考ヘテ居ルノデア  
リマシテ、寧ロ國民ヲシテ安心シテ銀  
行ニ預金ナリ何ナリデ、潜在通貨ヲ其ノ  
儘ニシテ置イテモ安心ダト云フ感ジヲ與ヘ  
サセルコトガ必要デアリマス、ソレガ結局  
此ノ潜在通貨ヲ動かサズ、購買力ヲ刺戟シ  
ナイ賢明ナ方策ダト、斯様ニ考ヘテ居ルノ  
デアリマス、サウ云フ意味カラ致シマシ  
テ、先程御話ノアツタ總動員法第十一條ノ  
改正ノ如キモ、ヤハリ根本ニ於テ國民ニ安  
心ヲ與ヘヨウ、銀行預金其ノ他商取引等ノ  
場合ニ於キマシテモ、何等カソコニ安心ヲ  
與ヘマスルナラバ、國民ハ却ツテ銀行預金  
ヲ引出シタリスルヤウナコトハナイ譯デア  
リマスカラ、サウ云フ風ニ致スコトガ、結  
局購買力ヲ刺戟セズ、潜在通貨ヲ動かサナ  
イ方法デアル、其ノ方向ニ向ツテ本議會ニ  
於キマシテモ、各種ノ法案ヲ提出致シテ居  
ルノデアリマス、技術的ナ問題デアリマス  
ケレドモ、例ヘバ國民貯蓄組合法案ニ於キ  
マシテハ、免稅ノ要件トシマシテ、長期ノ  
預金ヲ獎勵スル意味カラ致シマシテ、二  
年以上預金シタ者デナケレバ、免稅シナイ  
ト云ツタヤウナ程度ノコトハアリマスカレ  
ドモ、ソレ以上ノコトハ、成ベク國民ニ不  
安ヲ與ヘナイデ置クト云フコトガ、最善ノ  
方法デアルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デア  
リマス

稅制ニ付テ考ヘテ居ナイカト云フ御尋ネ  
デアリマスガ、是ハ現在ト雖モ御承知ノ  
ヤウニ、極ク少部分ノ取引稅ハ一部ニ付テ  
ハヤツテ居リマス、又物品稅ノヤウナモノ  
モ課シテ居ルノデアリマスガ、御承知ノヤ  
ウニ本年ハ、増稅等ノ案ハ議會ニ提出シナ  
イコトニ致シテ居ルノデアリマス、將來ニ  
於キマシテハ必要ニ應ジテ、是等ノモノニ  
付テ考ヘル場合モアルカモ知レマセヌガ、  
本年度ニ於キマシテハ取引稅等ニ付テハ、  
差當リ考ヘテ居ナイト云フコトヲ申上ゲタ  
イト存ジマス

ソレカラ租稅證券ニ付テノ御尋ネデゴザ  
イマスガ、是ハ御承知ノヤウニ「ドイツ」デ會  
テ實行致シマシタケレドモ、吾々ノ調ベタ  
所ニ依リマス「ドイツ」ニ於ケル實行ノ成  
績餘リ芳シカラズ、最近ニ於テハ却テ之ヲ  
廢メタト云フ話モ聞イテ居リマス、大體斯  
ク出ルト云フコトハ、相當考ヘナケレバナ  
ラス點モアリマス、又之ヲ發行致シマスル  
技術ノ問題等ニ付キマシテモ、相當考慮ノ  
餘地ガアリマスノデ、今日ノ所ニ於キマシ  
テハ、先ヅ斯ウ云フモノハソレヲ出スコト  
ニ依ツテ得ル利益ヨリモ、弊害ノ方ガヨリ  
多イダラウト云フ見當カラ致シマシテ、政  
府ト致シマシテハ差當リ出サナイト云フ考  
ヘデ居ル次第デアリマス

○西村委員長 ソレデハ質問ハ全部終了シ  
タモノト看做シマス、御異議ゴザイマセヌ  
カ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○西村委員長 御異議ナシト認メマス、仍  
テ本日ハ是ニテ散會シマシテ明日午後一時  
本委員會上程ノ七法案ニ對シテ討論ニ入り

採決ニ入ルト云フ順序ニ致シマスカラ、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時十分散會